

議会だより ふだい

FUDAI 40

岩手県普代村議会

No. 157

令和3年11月4日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

「いただきますっ」



茂市で4月に開園した認可外保育施設「つちのこ保育園」

主な内容

- 9月定例会概要、議案質疑 2頁～
- 2年度決算 6頁～
- 一般質問、その他 10頁～

9月
定例会

テレワーク推進事業など

1億3874万円を増額！



素晴らしい景色が望める「BLUE BASE FUDAI」

村議会第7回定例会（9月定例会）が9月15日開会されました。内容は、令和3年度の一般会計と4特別会計の補正予算、教育委員会委員の任命同意など13議案が審議され、全員賛成で原案可決されました。また、令和2年度一般会計および各特別会計決算の認定は、7会計とも全員賛成で認定されました。内容は次のとおりです。

一般会計
補正予算

補正予算で1億
2747万円増

▽令和3年度一般会計補正
予算（第5号）

歳入歳出に1億2746万8千円を増額し、総額で38億6983万2千円としました。主な歳出は、高齢者移動支援事業65万円、村道補修工事費1270万円、地方創生テレワーク推進事

業649万円などを増額しました。

高齢者移動支援事業は、高齢者のタクシー料金の一部補助をする新規の事業で、11月に各公民館に赴き、対象者の確認作業を行う予定です。

村道補修工事は、鶴鳥神社付近の側溝をコンクリート管に改良するほか、白井萩牛線の区画線の塗替工事などを行います。

くろさき荘に
オフィス誕生

地方創生テレワーク推進

事業では、都会を離れ、本拠地以外の施設でパソコンを利用して働く（テレワーク）会社・個人のための作業部屋（オフィス）をくろさき荘に整備しました。

10月から「BLUE BASE FUDAI」として利用を開始しており、有料となつていきます。場所は、客室と元喫煙所、食堂の一部です。

村では、社会の多様な働き方に対応し、村内外の交流による持続可能な地域づくりを進めていきます。

定例会で決まった議案

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	令和3年度 普代村一般会計補正予算（第5号） 補正額1億2,746万8千円を増額し、歳入歳出予算の総額を38億6,983万2千円とするもの。 歳出では総務費で、ふるさと応援基金積立金5,000万円やふるさと納税を活用した地域産業促進事業（返礼品調達経費・送料・株式会社青の国ふだいへの委託料ほか）3,321万5千円増額。地方創生テレワーク推進事業では、SDGsの一環としてくろさき荘へ整備したサテライトオフィスへの委託料及び備品購入費など648万8千円増額。観光費では、青の国観光ガイドブック・ダイジェスト版等の増刷（各2万部）に136万4千円増額。 土木費では、8月の長雨の影響による村道及び水路の土砂撤去に係る道路補修用役務料130万円や村道補修工事1,090万円を増額。	可決 (全員賛成)
議案第2号	令和3年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第2号） 補正額734万8千円を増額し、歳入歳出予算の総額を2億1,373万円とするもの。 国庫補助金を活用し、国民健康保険証のオンライン資格確認用端末機購入費等や予備費の増額が主なもの。	
議案第3号	令和3年度 普代村簡易水道特別会計補正予算（第2号） 補正額128万5千円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億93万5千円とするもの。 消費税納付金や職員手当等の増額によるもの。	
議案第4号	令和3年度 普代村休養施設事業特別会計補正予算（第1号） 補正額250万円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億2,700万円とするもの。 くろさき荘保冷車の老朽化更新と新型コロナウイルス感染症対策として施設備品の購入費をそれぞれ増額。	
議案第5号	令和3年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号） 補正額13万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額を3,173万6千円とするもの。 保険料還付金の増額によるもの。	
議案第6号	普代村RVパークの設置及び管理に関する条例の制定 普代浜園地キラウミのRVパーク施設整備（3区画）が完了予定となることから、公共施設として村が設置し管理運営を行うための条例制定。名称は、「普代浜園地キラウミRVパーク」、使用料は、駐車場1区画1回あたり4,000円以内。令和4年4月1日から施行。	
議案第7号	復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 省令の一部改正が施行されたことに伴う所要の改正。対象区域の変更や課税免除の適用取得期間が令和6年3月31日まで3年間延長されたことなどによるもの。	
議案第8号	普代村過疎地域持続的発展計画の策定 総合的かつ計画的な対策を実施するための新たな法律が制定されたことに伴い、普代村における令和3年度～令和7年度までの5年間の計画を新たに策定するもの。	
議案第9号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更 黒崎辺地の整備計画を変更するもの。くろさき荘を含む黒崎園地の建物等老朽化による整備のため、工事設計監理業務委託料200万円を事業費に追加。	
議案第10号	あらたに生じた土地の確認 白井漁港漁村再生交付金事業による公有水面埋立（漁港施設用地造成）の竣工により、あらたに生じた土地を確認するもの。面積は900.70㎡。	
議案第11号	字の区域の変更 議案第10号の土地を編入するもの。	
議案第12号	普代村教育委員会委員の任命に関し同意を求めること 任期満了に伴い、現教育委員会委員佐々木康雄氏（上区）の再任に関し同意を求めるもの。 任期は、令和3年10月1日から4年間。	同意 (全員賛成)
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること 佐々木健一氏（中央区）の推薦について、議会に意見を求めるもの。任期は、令和4年1月1日から3年間。	原案答申 (全員賛成)
報告第1号	令和2年度 普代村の財政の健全化判断比率及び資金不足比率	—
認定第1号	令和2年度 普代村一般会計歳入歳出決算の認定	認定 (全員賛成)
認定第2号	令和2年度 普代村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第3号	令和2年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第4号	令和2年度 普代村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第5号	令和2年度 普代村休養施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第6号	令和2年度 普代村漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第7号	令和2年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	
発議案第1号	「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」の提出 新型コロナウイルス感染拡大により、地方自治体は感染症対策はもとより、社会保障等への対応に迫られており、このためには地方税財源の充実が不可欠である。よって、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方一般財源の十分な総額確保や市町村の極めて重要な基幹税である固定資産税の見直しを行わないことを国に要望するもの。	可決 (全員賛成)

議案質疑

議案第1号

通学バス修繕料

森田幸一 議員



問 通学バス修繕料 49 万円の内容を伺う。

答 菅野教育次長

床部分が腐食し修繕が必要になった。フロアシートも取り換える。

議案第6号

RVパークの設置

中上一登 議員



問 使用料は指定管理者の収入になるのか。それとも村に入るのか。

答 榎屋村長

収入先については今後検討する。



RVパークとは車中泊専用の駐車場のことです。キラウミで人気のビーチバレーや緑地広場と連動した活用が期待されます。

議案第1号

くろさき荘繰出金

大上浩史 議員



問 くろさき荘への繰出金の内容は。

答 山崎農林商工課長

くろさき荘で使っている保冷車のフレームに亀裂が入り車検が通らない状況になっており、220万円程の中古を購入したい。残りの30万円は、厨房と従業員用トイレの自動手洗い等の修繕を行うもの。

議案第1号

側溝改修工事

正路正敏 議員



問 鶴鳥神社付近の側溝改修工事の終了予定は。

答 大村建設水産課長

2～3カ月ほどで終わる予定。年内もしくは年明け早々の完成となる。



工事現場の様子

議案質疑

議案第1号

防犯カメラ設置

金子泰男 議員



問 普代分署の出入りに防犯カメラ1台を設置した経緯を伺う。

答 川向総務課長

分署に設置されていた防犯カメラが故障し、分署から交換の要望があったもの。



普代分署

議案第1号

高齢者タクシー助成

嵯峨典行 議員



問 高齢者移動支援事業 64万8,000円の中身を伺う。

答 道下住民福祉課長

タクシー助成を行うもので、内容は基本料金540円分の券を月に2枚、今回は10月からの6カ月分で100名を見込んでいる。

議案第1号

高齢者タクシー助成

大上智 議員



問 助成券の発券方法や使用基準は。

答 道下住民福祉課長

公民館で申請手続きをしていただき発券する方法を検討している。使用基準等はもう少し詰めた中で決めたい。

議案第1号

有害鳥獣駆除

古沼和也 議員



問 ニホンジカとイノシシ駆除の報奨金が5,000円となっているが、岩泉町ではニホンジカを8,000円としている。猟友会の活性化を考えると高くしてもよいのではないか。

また、捕獲した場合の処理方法は。

答 山崎農林商工課長

新規事業なので5,000円で実施させていただき、捕獲実績によって検討したい。処理については、久慈の焼却場で処理するか、食しているようだ。

問 ジビエ（野生鳥獣の食肉）として販売はできないのか。

答 山崎農林商工課長

捕獲した鳥獣の肉の販売については、許可が必要かなど勉強したい。



有害鳥獣の被害



古沼 和也 決算特別委員長

令和2年度の決算を認定

村政のさまざまな分野で活発な意見

決算特別委員会（古沼和也委員長・委員8人）は9月16日から行われ、令和2年度の一般会計決算と6特別会計の総額58億8,151万9千円を審査しました。村政のさまざまな分野の質疑が行われた結果、全員賛成で原案のとおり認定しました。その中の質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

監査意見

効果的な行政運営を

和久喜美男 監査委員
おおかみ ひろし
大上 浩史 監査委員

一般会計と特別会計の決算総額は、歳入61億7,215万3千円、歳出58億8,151万9千円で、前年度に比べ、歳入で29・18%の増、歳出は32・36%の増となっている。主な要因は、新型コロナウイルス感染症対策費の増加によるものである。

村の財政は、厳しい財政状況が続いているが、令和2年度は、特別交付税や震災復興特別交付税などが交付され、地方交付税は総額で16億8,083万1千円となり、前年度に比べ5・73%の減となった。

本年度は、地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業、特別交付金給付事業、ふるさと納税を活用した地域産業促進事業、台風第19号被害にかかる公共土木

施設災害復旧工事等が実施された。翌年度へは13億9,429万円を繰り越している。

実質公債費比率については、起債現在高も多額であり、公債費負担適正化計画に基づき地方債の借り入れ抑制等をした結果、9・6%で前年度の10・2%を0・6ポイント下回っている。

※実質公債費比率とは、普代村の借入金の返済額を、村の財政規模に対する割合で表したものです。早期健全は25%以下と基準があり、少ないほど健全ということになります。

令和2年度決算

気になる事業。ピックアップ

令和元年台風第19号復旧関連事業 (住民福祉課、農林商工課、建設水産課担当) 8億7,664万円

令和元年10月に発生した台風第19号により被災を受けた村道・河川の復旧工事を実施しました。このほかにも、単独災害復旧事業や被災者生活再建支援金、災害等廃棄物処理事業、災害関連地域防災がけ崩れ対策事業などの災害復旧事業を行いました。

ふるさと納税 (政策推進室担当) 2億3,358万円

元年度実績7,119万円から大幅増額となり、県内33市町村中11位と大躍進でした。人気商品は、生うに、生スルメイカ、いくら、醤油漬、塩うに、マツタケなどです。この寄附は、学校給食費の無料化や住宅リフォームの補助などに使われました。

国民宿舎くろさき荘別館解体工事 (農林商工課担当) 9,193万円

国民宿舎くろさき荘の別館は、老朽化により利用されず景観を損ねていたため解体しました。



くろさき荘別館

地域活動拠点施設整備事業 (政策推進室担当) 5,199万円

老朽化した茂市レストハウスを解体し、新たに地域活動拠点施設（集会施設）を整備しました。



茂市の地域活動拠点施設

その他、気になる事業（内容）

・議会タブレット導入事業	166万円
・派遣応援職員負担金等（盛岡市、滝沢市、二戸市より3名）	2,216万円
・役場庁舎光熱水費、修繕料等	1,149万円
・災害後方支援拠点広場整備事業（上区に用地造成）	700万円
・青の国魅力情報発信事業（エフエム岩手にて放送）	517万円
・新規漁業者育成協議会補助金事業（新規1名、漁家子弟2名）	173万円
・看護・介護・保育職養成奨学資金貸付事業（看護2名、保育1名）	355万円
・いわてニューファーマー支援事業（1名）	75万円
・学校給食事業（29,300食を提供）	3,390万円
・定住住宅建設事業（上区に2戸建設）	2,943万円

決算特別委員会 質疑

災害復旧費

災害復旧工事の進捗

中上一登 委員



問 普代平井賀線の災害復旧について、太田自工前にある道路の復旧は完了したのか。崩れそうな状態だが、危険性は。

答 大村建設水産課長

災害復旧事業として認められた工事は完了している。落石防護柵等の設置ができな
いか、関係者に相談しながら検討したい。



太田自工付近

農林水産業費

菌床しいたけへの助成

正路正敏 委員



問 村にはニューファーマー支援事業という素晴らしい補助があるが、菌床しいたけへの助成はない。若く将来性のある方が菌床しいたけに携わっており、助成を検討してもよいのではないか。

答 梶屋村長

来年度から実施するように具体的な額の検討を進めており、村で農業振興のバックアップをより進めるように取り組む。



菌床しいたけ

教育費

中学校の清掃内容

大上浩史 委員



問 生徒による清掃はどのようにしているか。

答 菅野教育次長

生徒が使う教室は生徒が掃除しており、トイレ、廊下も行っている。

問 中学校の清掃業務委託料 266 万円は高いように感じる。どのような内容か。

答 菅野教育次長

月曜日から金曜日の午前 7 時 30 分から午後 5 時 30 分まで年間で 243 日働いていただいている。勤務内容は職員室や校長室、校舎周辺の清掃や草刈り、職員の給食の配膳なども業務に入っている。また年 2 回のワックスがけも行っており、人件費だけでなくワックスや消耗品を含めての委託料となっている。

休養施設事業特別会計

メモリアルホール建設

金子泰男 委員



問 宿泊客や利用者が減少している観点から、くろさき荘の部屋や改修予定のトイレを改装してメモリアルホールにできないか。

答 梶屋村長

近隣の利用状況を見て、村内にあってもいいのではないかと考えている。有力な未利用施設などもあるものと考えており、収支予想や補助金があるかなど調べながら検討したい。

決算特別委員会 質疑

農林水産業費

県営普代農地開発

大上智 委員



問 県営普代地区農地開発事業債務負担金の内容を伺う。

答 山崎農林商工課長

黒崎・和野山・向野場地区の農地 102.3 ha と太田名部のダム、かん水施設の整備で総事業費 98 億 2,276 万円となっている。国と県補助金を利用しているため村の負担は 13 億 9,073 万円ほどとなっており、債務負担残額は約 3,200 万円で、令和 7 年度で終了予定となる。



整備された農地。就農支援策をHPやラジオなどで宣伝し就農者を確保したい。

総務費

防災備蓄の処分方法

嵯峨典行 委員



問 防災用備蓄資材費 87 万円について、期限が切れた食料品の処分方法を伺う。

答 川向総務課長

防災訓練等において期限が切れそうなものは配布してきたが、2 年度は防災訓練等が実施できなかったため廃棄処分とした。

問 食品の廃棄ロスの問題もあるため、なるべく廃棄せずに配るなど活用方法を考えていただきたい。

答 川向総務課長

処分については苦慮しており、検討したい。



役場に保管されている防災用備蓄品

農林水産業費

小規模農家の支援

森田幸一 委員



問 小規模農家の振興策として、道の駅に出荷する仕組みを作れないか。子どもたちに農業を身近に感じる機会を与えるなど、いろいろな面でメリットがあるのではないか。

答 梶屋村長

道の駅での農産物の販売は大変人気がある。現在、駅の産直コーナーには向野場の方が入れており、これに何とか落合産直の方も取り入れたい。いずれ、小さな農業も大事にする取り組みにも力を入れたい。

総務費

小中一貫校建設資金

中上一登 委員



問 一貫校校舎の建設の全体像が見えてこない。資金の用途はたっているのか。

答 川向総務課長

国庫補助金と基金の積立金、過疎債を予定している。基金については 1 億 6,800 万円ほど積立をしており、これを続けながら残りの財源は地方債で対応する予定。



過疎債とは、過疎地域の市町村に認められた実質負担が少ない借金のことです。



正路正敏

税払いの電子決済導入を

コスト面も踏まえた検討を 榎屋村長

質問

国は、令和3年4月末までにマイナンバーカードを作成し、選んだキャッシュレス決済サービスでチャージや買い物をすると上限5000円のポイントを付与して、マイナンバーカードの普及とキャッシュレス化の推進を行っている。

都道府県では、個人での自動車税の電子決済が普及している。岩手県ではまだ対応されていないが、県内の市町村では導入が進みつつある。

今後、電子決済での支払

質問

国は、令和3年4月末までにマイナンバーカードを作成し、選んだキャッシュレス決済サービスでチャージや買い物をすると上限5000円のポイントを付与して、マイナンバーカードの普及とキャッシュレス化の推進を行っている。

答弁

榎屋村長 県内市町村の中には、スマートフォン決済アプリによる納税を導入しているところがある。スマートフォン決済アプリによる納税には、納付書へのバーコードの印字が必要となり、これによつてスマートフォン決済だけでなくコンビニ納付への対応も可能となるが、システム改修等の初期費用が約300万円、年間の運用コストが60万円以上見込ま



スマートフォンの決済アプリがあれば、請求書のバーコードを読み取るだけで自宅にいても支払いを済ませることができる。(写真はイメージ)

質問

れる。コスト面も考え、今年度は東北6県のうちちよ銀行と郵便局での村税の口座振替や窓口納付への対応を進めている。

国では、令和5年度には、地方税共通納税システムの対象税目を増やすこととしており、これと併せてQRコードの規格統一化による導入も取り進めることとしている。本村でも今年度内に国から示される予定のシステム改修経費や統一規格のQRコードとバーコードを導入した納付書の作成費用、そしてこれに対する地方財政措置の対応等を把握した上で、村税の電子的な納付も可能となるように国の動向を注視しながら村税の収納率の向上にもつなげていきたい。

質問

都道府県の中で、岩手県・秋田県・山形県・北海道が県税に対して自動車税などの電子決済を可能にしている。また、岩手県内の市町村に

答弁

榎屋村長 デジタル庁等々が発足した中での今後の税関係事務、特に納税関係の住民側の利便を高めていくことへの国の補助等については、まだ示されていない状況である。

来年あたり諸設備導入の標準的な経費等が示される中で補助や交付税も措置されるものと考えている。

浜防潮林の復旧を

再植栽に向け検討

榎屋村長

嵯峨典行



質問

東日本大震災から10年経過した現在、普代浜防潮林は荒れ果てた状態のままになっている。村の津波防災がBSプレミアムで放送された際、水門を数メートル乗り越えた津波をその先にある防潮林が完全に食い止めたと結論づけていた。

景観面、防災面から防潮林の復旧は必要ではないかと思うが、村長の考えを伺う。

答弁

榎屋村長 平成28年にクロマツ2851本を植栽し、翌年にも882本の補植を行ったが、河川水位の上昇により苗木が根腐れを起し、現在の状態のままになっている。

今後倒木処理を引き続き行い、水位の上昇改善など県に要望しながら植栽の取り組みを進めていきたいと考えている。



荒れ果てた防潮林

高齢者福祉の充実

質問

現在、福祉灯油として65歳以上の独居高齢者2人世帯に5000円分の灯油代を補助しているが、いくらかでも増額できないか伺う。

答弁

榎屋村長 これは県と市町村の連携した事業で、5000円の財源の2分の1は県からの補助であり、昨年度も沿岸部全ての市町村が同額の5000円で実施している。

助成額については激甚的

質問

な災害発生など相当の事情が発生しない限り、増額は行わないと考えている。

以前提案した自家用車を所有していない高齢者世帯へのタクシー券の補助について、進捗状況を伺う。

答弁

榎屋村長 コロナ禍においても高齢者の皆様が安心して生活に不可欠な食糧や物資などを購入できるようにタクシー券を助成して支援を行いたく、今議会の補正予算に計上させていただいたところである。



貴重な交通手段のタクシー



中上一登

河川と藻場の回復を

要望を引き続き行う

榎屋村長

質問

三陸沿岸各地で磯焼けが問題となり、ウニ・アワビの不漁が続いている。磯焼けは、山の腐葉土に含まれる鉄分の不足が原因であることが解明され、鉄分を人工的に供給し藻場が再生した漁協もあり、地域にあった藻場の再生に取り組みなければならぬと思う。

磯はダムや河川の環境に左右されることが分かっている。ダムの影響で沢向の川岸が侵食されることが考えられるが、ダム改良の必要性を県ではどのように認識しているのか伺う。

答弁

榎屋村長

沢川は水量調整をしないダムであり、特に下流域でのダムによる川岸の浸食は考え難いと県から聞いている。

ダム改良の必要性については、本年度と来年度の2カ年度で堆積土砂や流木等の除去作業を行いながら検討すること。

質問

村としては漁業被害も出ていることから、ぜひ県には流木捕捉への改良を実施していただきたいと考えている。

質問

三陸沿岸全体の取り組みとして、村で藻場再生の研究等について県に要望してはどうか。

答弁

榎屋村長

県へは機会を見つけた状況の説明と調査等の実施について要請をしてきた。昨年度は「普代村地区・藻場分布状況調査」が実施され、漁協と村に報告をいただいた。

また、県が堀内漁港のまっしそ公園内で400個のウニ蓄養試験を行っており、今年の冬も継続することである。

質問

小学校には「海づくり少年団」がある。沿岸地域に生まれた者として、海づくりを認識できる活動も必要ではないかと思うが、教育長の見解を伺う。

答弁

三船教育長

学校教育の中で、5年生の社会科の中で海・漁業についての学びをしている。ほかに、総合学習やサケの日給食などを通して海への関心と理解を深めている。

海づくり少年団の現在の活動は、漁協や水産加工業者のご協力をいただきながら、新巻き鮭づくりやワカメの芯抜き体験等である。こうした小学校での学びや海づくり少年団等の体験が「海づくり」への関心を深めていけばと思っている。そして、SDGsの目指す目標のひとつ、海・陸の豊かさを取り戻す活動に深くつながればと期待もしている。

村の観光イメージ

質問

三陸沿岸道路が全線開通すると交通量が確実に増える。人の目に触れる位置に役場があり、これを活用しない手はない。庁舎の上へ灯台モニュメントを設置する計画はあるか。

答弁

榎屋村長

現在具体的ものはない。構想的なものとしては、議場の東側の屋上部分に広告板的なものをできればと考えている。

質問

観光客が黒埼灯台へ上がるようにする構想の進捗は。

答弁

榎屋村長

灯台上部への連絡橋やデッキ設置を検討したが、経費が1.5億円ほどで財源確保に難航しストップしている。当面はイルミネーション化や眺望改善による灯台と周辺の魅力アップを着実に図りながらチャンスを探っていく。

ウニの増産策は

これまでと違う取り組みを

榎屋村長

大上智

質問

太田名部の角の沢漁場の潜水調査では、水深7m以深のウニの生息数は、通常採捕する水深4〜5mより何倍ものウニ資源があることが分かった。しかし、エサとなる海藻が少なく痩せたウニである。

ウニはふるさと納税の返礼品で人気が高い。村の漁場の条件を考えると他市町村のような魚類養殖は今のところは見込みがなく、このウニ資源を活用した陸上養殖などを含めた管理漁業を検討することが漁業再生のためにも大事である。深場の痩せたウニを利活用した増産策について伺う。

答弁

榎屋村長

調査結果にある痩せたウニの資源を生かすことが重要である。お話しするように、漁協をはじめとする水産研究機関、水産会社等を巻き込んだ関係団体総がかりで取り組む戦略を進めるべきである。役場としても昨今の漁業従事者不足の面からもこれまでの流れと違った取り組みをしていかなければと考える。

コロナ禍の心のケア

質問

コロナの感染対策で我慢を続けている園児・児童・生徒の心のケアを教育現場ではどのように行っているか伺う。

答弁

三船教育長

久慈保健所管内の児童・生徒の感染者増加により、身近に迫った事業や大会等の内容変更、あるいは延期・中止の措置を講じざるを得なかったが、心のケアが必要となった事



ウニが潜む角の沢漁場



陸中黒埼灯台

総合発展計画の見える化

質問

第5次普代村総合発展計画に基づいて、普代村の将来像実現のためには、それに基づく施策・事業との体系図を示す必要があると思うが、見解を伺う。

答弁

榎屋村長

総合発展計画に基づく事業実施計画・過疎地域持続的発展計画との体系図を分かりやすく示すことは大変重要なことである。工夫をした体系図を改めて作り、村政懇談会や各分野の説明会を行って概要説明をするなどの取り組みを検討したい。

第三セクターの役割

質問

第三セクター「株青の国ふだい」は、いまだに村当局から独立して運営しているように見受けられない。村はどのような役割を担っているのか伺う。

答弁

榎屋村長

村が筆頭株主となっている以上、村について回る責任を果たすため、一定の管理・監督・指導の役割を担っていかなくてはと考えている。

8/3 第6回臨時会

審議した案件は、令和3年度一般会計補正予算（第4号）のほか、沢漁港漁村再生交付金（北防波堤他）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることなどを全員賛成で可決しました。主な内容は、次のとおりです。

▽令和3年度一般会計補正予算（第4号）

補正額8,376万7千円を増額し、総額を37億4,236万4千円としました。

内容は、小中一貫校建設のための教育施設等整備基金積立金2,000万円や財政調整基金積立金4,436万円のほか、村道補修工事1,106万円を増額しました。これは、普代駅前5号線道路（普代駅から上区の高齢者施設に通じる道路）の拡幅に800万円、普代地区道路舗装新設に156万円、普代南浜線舗装修繕150万円に係るものです。

▽沢漁港漁村再生交付金（北防波堤他）工事の請負契約の締結

契約金額1億1,770万円で沢漁港の工事を行います。北防波堤は、横21mに防波堤を延長して消波ブロックを設置し、北護岸は消波ブロックを設置します。

▽発議案「東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出決定を撤回し、安全な処理と保管方法の確立を求める意見書」の提出

（趣旨）

東京電力福島第一原子力発電所における多核種除去設備で処理された水（以下「ALPS処理水」という。）の海洋放出決定を撤回し、安全な処理と保管方法を確立するよう強く要望する。

（理由）

政府は、福島県漁業協同組合連合会に対し、ALPS処理水について「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」と回答しているにも関わらず、関係者への丁寧な説明を行うこともなく、科学的に安全が確立されていない段階で海洋放出を決定したことは看過できない措置であり、絶対認められるべきものではない。この決定は、東日本大震災で多大な被害を受け、復興へ邁進してきた水産関係者の10年の努力を踏みにじるものである。

安全性が確立されていない段階での海洋放出は、風評被害の再発生と海洋環境への影響も懸念される。また、近年は深刻なサケ等基幹魚種の不漁に加え、コロナ禍での販路喪失もあり、疲弊している本村の漁業に更なる打撃を与えることは容易に想像される。

よって、国においては、ALPS処理水を海洋放出することなく、安全な処理と保管方法を確立し、併せて、トリチウムの除去についても積極的な技術開発に取り組むべきである。

村民の皆さんにお知らせしたい 杵屋村長の行政報告



諸事業の進捗状況

くろさき荘のサテライトオフィスの開設やテレワークを活用した移住・滞在を支援し、新しい人の流れを創出するテレワーク交付金事業649万円（国補助4分の3）を実施いたします。

観光事業では、国立公園利用拠点整備事業2,258万円（国補助2分の1）でアンモ浦展望台手すり修繕、くろさき荘周辺の安全柵設置、トイレ改修、灯台からくろさき荘付近まで500本の修景伐採を来年2月末までに完了させます。また、黒埼灯台周辺のイルミネーション設置440万円や国立公園滞在型ツアー795万円（国補助10分の10）を本年中に実施いたします。

旭日区地域活動拠点施設は、4,950万円で契約となり、来年2月末までに整備いたします。

県道は、普代小屋瀬線改良工事の一部が発注となりました。また、市町村要望をお願いしていた岩泉平井賀普代線の舗装打替えは、役場から普代浜トンネルまでの調査を行い、年度内完成の予定で施工される見込みであり、県の取り組みに感謝いたします。

治水関係は、上区地区排水処理施設のポンプ場の設計2,860万円に着手しており、12月の完了が予定されます。なお、上区の砂防堰堤工事は順調に進められており、沢川の砂防堰堤や茂市川の銅屋橋付近での本年度分の河道掘削も間もなく行われます。

普代川河口閉塞工事は完了となり、現在のところ、安定的な流路の確保がされています。普代川への人道橋の整備は年度内の完成予定で進められており、来年の観光シーズンには利用できる予定です。

コロナ関係

ワクチン接種状況は、9月10日までに2回の接種を終えた方が1,513人（65歳以上1,034人で91%、12～64歳479人で38%）となっており、10月末までの希望者全員の完了を予定しております。

なお、コロナ対応地方創生臨時交付金が348万円追加交付されますので、三陸鉄道支援や高齢者福祉タクシー助成などに取り組みたいと思います。

広域行政

沿岸知的障害児施設組合の解散については、建物の取り壊し、土地の宮古市への無償譲渡、事務の承継は宮古市が行うなどの方針が決まっています。

久慈広域連合では、5年後の県内10消防本部での消防指令業務等の共同運用に向けた消防指令センター整備事業に参画します。

その他

今後の主要行事である、海フェスタinふだいは中止となっております。合同敬老会は、代替の商品券交付を実施させていただきます。防災訓練は延期とし、文化祭は縮小開催の予定としています。

くろさき荘は、8月末での宿泊者数が3,097人（前々年比696人減）、事業収入は3,568万円（前々年比1,074万円減）となっており、厳しい営業が続いています。

ふるさと納税は、9月12日時点で1億3,252万円（前年比3,191万円増）となっています。寄附者の皆さまに心から感謝いたします。

